



2016年の住宅着工、6.4%増の96万戸 2年連続プラス



国土交通省は1月31日、**2016年の新設住宅着工戸数が前年比6.4%増の96万7237戸だったと発表**。2年連続のプラスで消費増税前の駆け込み需要があった13年以來の高い水準。相続税の課税強化や低金利を背景にした貸家着工が全体の伸びをけん引した。種類別にみると、**持ち家が3.1%増、貸家が10.5%増、分譲住宅が3.9%増だった。貸家は41万8543戸と8年ぶりの高水準だった**。相続税の節税目的に加え、日銀のマイナス金利政策を受け資産運用のためにアパートを建てる動きが地方にも広がった。貸家の地域別では三大都市圏以外の「その他地域」の伸び率が最も高く11.5%増えた。

専門家の間では貸家ブームを懸念する声が出ている。内閣府は1月に出したレポートで世帯数の伸び低下によって「着工戸数の実績値が潜在需要を超過する可能性」を指摘した。野沢千絵・東洋大教授は「日本は人口が減っているのに世帯数を超えた大量の住宅供給が続く住宅過剰社会だ」と指摘している。

情報提供: 日本経済新聞

LIXIL 業界初ユーザー自身でオールインワン浄水栓への切り替えも可能な水栓発売

LIXIL は、キッチン用シングルレバー混合水栓を刷新し、ユーザー自身にて取替浄水スパウトへの切り替えも可能な、「クロマーレ S」「ノルマーレ S」を2017年3月1日より全国で発売。水栓スパウト(水栓の先端部分)を取り替えることができる構造とすることで、単機能水栓を後から簡単に、ユーザー自身で浄水栓へグレードアップすることが可能。賃貸や建売住宅などで採用されることの多い単機能水栓から、意匠性を損なわずに浄水栓へと変更可能です。また水栓スパウトを交換すると、泡沫吐水からシャワー吐水になり、使い勝手も向上。この新提案が認められ、同商品は2016年度グッドデザイン賞を受賞しています。

*シングルレバー混合水栓「クロマーレ S」(一般地・寒冷地): 32,500円

*シングルレバー混合水栓「ノルマーレ S」(一般地・寒冷地): 27,500円

* 取替浄水スパウト: 6,300円



情報提供: LIXIL

『新しいイメージの既存住宅』情報提供制度の骨子案を提示

国土交通省は1月23日、「**プレミアム既存住宅**」(仮称)として検討を進めてきた既存住宅の流通促進にむけた新しい既存住宅の情報提供制度の骨子案を有識者による検討会で示した。一定の要件を満たす既存住宅の流通に取り組む事業者団体を国が審査・登録する方針。登録事業者団体には、消費者に対する満足度調査の実施や、相談窓口の設置などが求められる。名称は引き続き検討していく。

不安を解消するための既存住宅の要件として

- 1、新耐震基準に適合していること
- 2、インスペクションを行い構造上の不具合・雨漏りが認められないこと
- 3、既存住宅売買瑕疵保険または同等の保証が付いていること

また、既存住宅の「汚い」というイメージの払拭に関しては、事業者団体ごとに基準を定めて、その基準に適合していることを要件にする。また、現況の写真を開示することなども条件化する方針。新しい制度は今年度内のスタートを予定している。要件を満たす団体の募集を始める。基準は満足度調査などの結果をみて定期的に見直していく考えだ。



情報提供: 新建ハウジング

ウッドワン「360度パノラマバーチャルツアー」を公開



ウッドワンは1月25日、パソコンやスマートフォンなどを利用してショールームのバーチャル見学を可能とするウェブコンテンツ「360度パノラマバーチャルツアー」を同社ウェブサイトで公開する。

同コンテンツは、ショールームへの来場が困難な人が、カタログだけでは分かりづらい商品のショールーム展示の様子や商品ディテールを、その場に居ながら確認できるもの。パソコン、タブレット端末、スマートフォンなどを利用して、ショールームを実際に歩いているように疑似体験することができる。

情報提供: 新建ハウジング